

よくある質問と答え(FAQ)

NO	質問	回答
1	同じような募集がクレアのソウル事務所・北京事務所からもあるが、両事務所との違いはあるのか。	ソウル、北京は、食文化の紹介を通じて、 <u>訪日客を増やすことを主目的</u> としております。対して、シンガポール事務所では、 <u>実際に自治体がPRしたい食材を用いた、その食材の販路の開拓、拡大、市場への浸透を主目的</u> としております。
2	自治体のメリットを教えてください。	本事業の一番の特徴は、自治体がPRしたい食材を用いての、料理教室です。料理教室の参加者は実際の食材を手にとって調理・試食をするので、食材のおいしさを調理法も含めて知ることができ、参加者が今後家庭で調理する際にも購入するなど、 <u>継続的な販売の拡大が期待</u> できます。また、実際に調理・試食した参加者の生の声を聞くことで、食材販売の際の戦略の検証が可能です。
3	自治体の費用負担を教えてください。	<u>原則、費用負担は発生しません。</u> ただし、希望するPR食材が現地に商流のない場合は、PR食材の調達、ABC社までの輸送に係る費用をご負担いただきます。その他、任意ですが、自治体情報発信素材やお土産を提供される場合、提供・輸送に係る費用をご負担いただきます。
4	ABC社の詳細を教えてください。	株式会社ABCクッキングスタジオは、“世界中に笑顔のあふれる食卓を”をモットーに料理・パン・ケーキを学べる料理教室を運営する会社で、2020年10月20日現在、世界で157スタジオ(国内119スタジオ・海外38スタジオ)を展開しています。ABCクッキングスタジオシンガポール社は、2015年4月にシンガポール初のスタジオ(高島屋スタジオ)をオープンし、現在シンガポール国内に3つのスタジオを運営しています。20～40代の主婦層を中心に、毎月4,000人程度の生徒が教室に通っており、そのうち9割がシンガポール人であるため、講師は英語、中国語の教室に合わせ、それぞれ対応できる人を割り当てています。シンガポールを含む海外教室については、ほか中国、韓国、香港、台湾、シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシアの全8拠点で38店舗を展開。毎月約3万人がレッスンに参加しています。参加者の7割が毎年日本に来るような訪日観光リピーターで、ここから毎月300万人以上の方にSNSやメディアを通じて情報発信しています。 ※タイやシンガポールのスタジオでは、2020年に新型コロナウイルスの影響を受けた臨時閉業を経験した後、現在では、十分な感染防止対策のもと、ほぼ通常通り営業しています。
5	輸出が出来ないものや、課税対象となるもの等教えてください。	募集要項にある通りで、それ以上の詳細については以下のHP等で確認いただくか、日本国内の最寄りのJETRO事務所にお問い合わせください。 https://www.jetro.go.jp/agriportal.html
6	自治体職員がシンガポールのABCで直接PRしたい場合には、調整してもらえるのか。	1レッスンあたり4名程度で、1日に1～3回のレッスンが行われる予定です。料理教室なので、(イベント等とは異なり)PR時間を多くとることはできない(レッスンの最初や試食中などしかない)という点をご理解いただければ、調整いたします。 ※新型コロナウイルスの影響を受けた出入国規制により、当地への渡航ができない場合は調整不可となります。自治体のPR動画や観光パンフレットの提供等にご協力をお願いいたします。
7	現地に商流のない食材については、ABC社による買取ではなく、サンプル提供という理解でいいか。	基本的には募集要項にある通りですが、それ以上の詳細については以下のHP等で確認いただくか、日本国内の最寄りのJETRO事務所にお問い合わせください。 https://www.jetro.go.jp/agriportal.html
8	生徒へ提供するお土産は必ず準備しなければならないか。	必ずしも用意する必要はございませんが、日本の銘菓などは人気が高く、販路拡大・開拓と観光促進の相乗効果を狙う上では、効果的なツールです。観光パンフレットに併せて、無理のない範囲でご用意いただければと思います。
9	現地に商流があるPR食材「原則」費用負担なしとのことだが、例外はどのような場合か。	当事務所とABC社との委託契約に基づき、ABC社が現地でPR商品を購入する予算にも上限があり、他自治体様の商品や使用量など全体を見てみないと予算内でおさまるか分からない部分があります。例えば、あまりに高額の食材の場合、お断りさせていただく場合があります。そういった場合、自治体が費用を負担しても良いからPRをしたいということであれば、自治体負担の上参加いただくことは可能です。いずれにしても費用が発生する場合には、参加決定前にこちらから確認をさせていただきます。
10	今回の料理教室は食材(物)の提供のみで、生産者や自治体職員によるPR等はないものとの認識でよいのか。もし同行が可能な場合は、旅費等の補助はあるか。	生産者や自治体の方のレッスンへの立ち合いは想定していません。もし希望される場合、料理教室のためイベントとは異なりPR時間を多くとることはできないとご理解いただいた上で、自治体職員の方にごく短い時間のPRを調整することは可能だが、その場合でも旅費の補助等は行っていないので、ご自身で当地までお越しいただく必要がある。
11	フィードバックの内容を具体的に教えてください。	実際に調理した生徒の食材についての感想(味、調理のしやすさなど)などが中心となります。参加者に記入を依頼するアンケートの項目作成時には、自治体の皆様にもご要望をお伺いする予定です。